

# 全國 市議会旬報

ぜんこくしきかいじゅんぽう

第2088号

令和元年 6月25日  
(2019年)毎月3回5の日に発行  
発行 全国市議会議長会

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
代表 TEL 03(3262)5234  
旬報 TEL 03(3262)2309  
発行人 滝本 純生  
<http://www.si-gichokai.jp>

## 第95回 全国市議会議長会定期総会



石田総務大臣（中央）に要望書を手交する  
野尻新会長（右）と山田前会長（左）

## 新旧会長 石田総務大臣に決議要望

山田一仁新会長は12日、政府、与党要職に就退任され、さつを行い、この中で第95回定期総会で決議された「厚生年金制度への地方議会

議会の魅力を高め多様で有為な人材の議会への参画促進と議会権能の強化を一歩前に進めることを目的に、6月11日、全国815市区の議長ほか関係者約1500人が東京国際フォーラムに参集し、

議会の魅力向上と権能強化、地方創生・地方分権改革の推進、地方税財源の充実確保、防災・減災対策の充実強化、東日本大震災からの復旧・復興等の課題について協力を求めた。

## 厚生年金へ地方議員加入を 野尻氏を新会長に選出 第95回定期総会

第95回定期総会が開催された。山田一仁会長（札幌市議会議長）は冒頭の挨拶で「多様な人材の市議会への参画を促し、議会を活性化することが緊要な

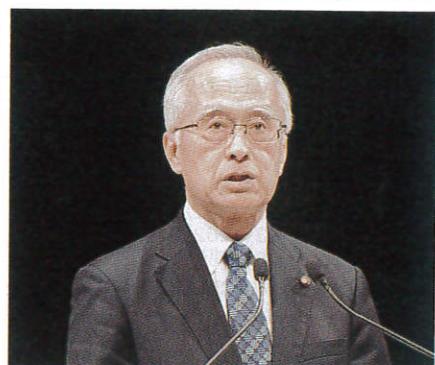
その一環として、厚生年金への地方議会議員の加入について、議論の動向に適切に対応し、早期の法整備の実現を各方面に引き続き強力に要望する必要があると強調した。

総会では、新会長に野尻哲雄大分市議会議長を選出。会長提出議案27件を可決、役員改選、永年勤続表彰などを実施した。

議員の加入実現」をはじめとした多様な人材の市議会への参画促進などを強く求める要望書を石田真敏総務大臣に手渡した。総務省は、議員のなり手不足対策に関する検討会を近く発足させ、初会合を開く。

ほかに就退任あいさつした大臣や国会議員は次第に就退任あいさつの通り。

▽片山さつきまち・ひとしじと創生担当大臣  
△二之湯智本会顧問（自民党参議院議員）



野尻 哲雄 (のじり てつお)

【略歴】 昭和25年5月12日生まれ 69歳  
議員歴 平成13年3月～現在  
議長歴 平成29年3月～現在

会全般の総意として、ご  
推挙を賜り、皆様方の全  
会一致のご賛同により、  
第63代全国市議会議長会  
長に選任をいただきま  
した。全国  
の81  
5市区が  
加入了  
します、  
歴史と伝  
統ある全  
国市議会  
議長会の  
会長にご

## 野尻新会長就任挨拶

回定期総会は、山田会長の挨拶ののち、来賓祝辞に移り、安倍晋三内閣総理大臣が登壇。安倍総理は、「元気な地方なくして、日本の再生なし。5月から新たな令和の時代が始まり、見事に咲き誇る梅の花のように、一人

希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせ、地方それぞれの可能性が大きく開花していく、そんな時代を議長の皆様とともに築きたい」と述べた。

安倍総理に続き、大島理森衆議院議長、伊達忠一参議院議長、石田真敏

## 地方議会の魅力向上と権能強化



開会挨拶をする山田一仁会長

このあと「第14回研究フォーラムin高知」について開催市である

会議長を選任した。表彰式に移り、永年勤続表彰を行った。被表彰者は、正副議長、議員、会員に選任された。

役員改選では、副会長6名、監事3名、理事51名、評議員155名、各委員会委員119名を各部会推薦のとおり選任。また、山田前会長のほか、現職市議の元会長と政令指定市議長を相談役に委嘱した。(15面に掲載)

あり方に關わる提言や要望などに積極的に取り組んでいたなど、本会の発展のために大いに活躍されたところです。まずもって感謝申し上げたいと存じます。

前任の山田会長におかれましては、地方税財源の充実確保をはじめ、災害復旧・復興支援対策の充実強化、地方議会議員の厚生年金への加入、そして、今後の地方議会の充実強化、地方議会へ

の多様な人材の確保等の山積する諸課題の解決に全力を傾注してまいりました。特に、厚生年金への地方議会議員の加入につきましては、早期の法整備に強力に要望していきました。実現に向け関係各方面に協力を重ねてお願い申しあげ、会長就任に当たつての挨拶とさせていた

各委員会委員長から、活動報告と要望結果を報告し、了承した(8~10面に掲載)。

全国市議会議長会第95回定期総会は、山田会長の挨拶ののち、来賓祝辞に移り、安倍晋三内閣総理大臣が登壇。安倍総理は、「元気な地方なくして、日本の再生なし。5月から新たな令和の時代が始まり、見事に咲き誇る梅の花のように、一人

希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせ、地方それぞれの可能性が大きく開花していく、そんな時代を議長の皆様とともに築きたい」と述べた。

安倍総理に続き、大島理森衆議院議長、伊達忠一参議院議長、石田真敏

述べた。

続いて全国知事会など五団体の会長からの寄せられた祝電を披露したのち、昨年10月に新たに市制を施行した福岡県那珂川市を紹介し、同市の高原隆則議長が登壇。挨拶とともに那珂川市の紹介があった。

このあと「第14回研究フォーラムin高知」について開催市である

議案審議に入り、9地区会から提出された27件の議案について、関連議案ごとに上程、趣旨説明ののち、いずれも原案のとおり可決し、各委員会への付託などを会長に一任した(10~11面に掲載)。